

宮私幼 だより



認定こども園 南光紫陽幼稚園・あじさい保育園

巻頭言

今年の夏は例年になく、厳しい暑さと豪雨の連続でした。全国で被災された幼稚園関係者の方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、10月から幼児教育の無償化が始まります。連合会といたしましても各地区ごとに会合を持ち、不安解消に努めたところでございます。9月20日現在、各園に届くはずの給付認定の通知が届いておりません。保育料等の請求事務作業が中断しております。職員の給与支払が心配になってまいりました。4月からの入園手続きも心配です。関係機関への働きかけを全員で行っていきましょう。

夏休み中は、教員の資質向上ということで大勢の先生方に研修会に参加をさせていただきました。特に、2歳児保育にかかる研修会、特別支援にかかる研修会に参加をいただきました。さらには、教員の免許状更新講習にも多数の先生方が受講されました。今後も、更新に必要な30時間の講習を設けてまいりますので、期限内に更新されるようお願いいたします。



宮私幼理事長 村山 十五



平成31年度宮私幼理事会の概要（4月～9月）

【平成31年度第1回宮私幼理事会】

日時 平成31年4月22日(月) 午後2時～
場所 宮私幼会議室

- (1)「はせくらまち杜のこども園」の入会及び退職手当資金給付事業への加入申込について(承認)
(2)「名取市閑上保育所」の入会及び退職手当資金給付事業への加入申込について(保留)
(3)「利府聖光保育園」(小規模保育事業A型)の入会及び退職手当資金給付事業への加入申込について(保留)
(4)地区会開催の是非について
・無償化について(行政との関わり)

報告事項

- ア. 4月3日(水)開催の新任教員研修会について
イ. 来年3月24日(火)開催の教育研究発表大会及び教員免許状更新講習について
ウ. 10月22日(火)祝日・開催のPTAハレホール大会の日程変更について→11月6日(水)に日程変更
その他
これからの予定について

【平成31年度第2回宮私幼理事会】

日時 令和元年5月8日(水) 午後2時～
場所 宮私幼会議室

- (1)「名取市閑上保育所」の入会及び退職手当資金給付事業への加入申込について(再審・承認)
(2)「利府聖光保育園」(小規模保育事業A型)の入会及び退職手当資金給付事業への加入申込について(再審・承認)
(3)宮私幼施行規則の一部改正(案)について
第2条(入会金) 別紙1(1)入会金納入規定の3.経過措置を継続
(4)各市町村への要望書について
(5)平成31年度第1回定時総会の議案について
第1号議案 平成30年度事業報告について
第2号議案 平成30年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告並びに監査報告について
(6)報告事項について
①宮私幼施行規則の一部改正について
②「東日本大震災義援金」の状況について
(7)第1回定時総会の議長、議事録署名人及び司会者について

その他

- (1)ECEQについて…代表者選出について(該当者なし)
(2)研究委員会より「県幼児教育センター準備室」との関わりについて

【平成31年度第3回宮私幼理事会】

日時 令和元年7月23日(火) 午後2時～
場所 宮私幼会議室

- (1)地区別設置者・園長会議について
ア. 日程と出席者の確認
イ. 協議事項の確認
【経営委員会】
①幼児教育無償化について②令和2年度初任給並びに保育料について
③令和2年度園児募集について④養成校との懇談会の報告について
【総務・給付委員会】
⑤処遇改善について
【研究委員会】
⑥研修スタンプ(シール)について
(2)養成校との懇談会について
○開催日時:8月1日(木)午後2時～ ○場所:仙台ガーデンパレス
(3)無償化について
○各地区より、無償化の資料の提出
(4)4月～7月迄の各委員会の事業報告について
研究委員会…大阪府私立幼稚園連盟のアンケートについて了承
特別委員会…今年度から免許状更新講習のアンケートの方法が変わる
(5)地区運営費・地区研修費・実技講習会費について
(6)その他
○振興大会の反省[7月17日(水)開催] 次回、令和2年6月23日(火)の予定

【平成31年度第4回宮私幼理事会】

日時 令和元年9月2日(月) 午後2時～
場所 宮私幼会議室

- (1)地区別設置者・園長会議について…経営委員長報告
ア.出席者の確認 ほぼ例年の通り
イ.反省等
(2)幼児教育・保育の無償化について
○令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が始まるにあたって
○無償化の説明会
日時:9月13日(金) 10時～ 東京エレクトロンホール宮城
その他

事務局だより

平成31年度 上半期（4月～9月）

○関係機関団体

- 5/8 幼稚園等新規採用教員研修(県総合教育センター)
5/15 仙私幼総会(旭ヶ丘市民センター)
5/20 仙私幼PTA連合会総会(仙台市民会館)
6/6 宮私幼PTA連合会総会(仙台市民会館)
7/2 県新採研、幼稚園中堅教諭等資質向上研修(県総合教育センター)
7/29 県中堅研(県総合教育センター)
7/31 県新採研(県総合教育センター)
8/5 幼稚園教育課程宮城県研究協議会(県行政庁舎)、県新採研(県総合教育センター)
8/8 県新採研、県中堅研(県総合教育センター)
8/21 県新採研(県総合教育センター)
9/2 私学審議会(県自治会館)

○全日私幼連

- 4/5 東北地区会監査会(岩手)
5/14 理事会(東京)
5/22 定時総会(東京)
6/4 幼児教育無償化等に関する説明会(東京)
6/13～14 ECEQコーディネーターフォローアップ研修会(東京)
6/18 幼児教育の無償化に関する説明会[私学助成園対象](東京)
6/21 第27回東北地区私立幼稚園設置者・園長研修会<福島大会>
6/22 第1回東北地区会(福島)
7/10 102条園研究会議(東京)
7/27～28 免許状更新講習<必修・選択必修>(福祉大東口キャンパス)
7/31 認定こども園「教育・保育 質の向上」全国研修会(東京)
8/17 免許状更新講習<選択>(福祉大東口キャンパス)
8/18 免許状更新講習<選択>(福祉大東口キャンパス)
8/19～20 幼児教育実践学会(静岡)
8/30 東北地区会教育研究担当者連絡協議会(岩手)
9/26 都道府県政策担当者会議(東京)

○宮私幼のあゆみ

- 4/3 新任教員研修会[仙私幼と共催](福祉大東口キャンパス)
4/18 研究委員会
4/22 理事会、総務・給付委員会、広報委員会
5/7 常任理事会と総務・給付委員会合同会議
5/8 監査会、理事会、総務・給付委員会
5/17 研究委員会
5/23 設置者・園長研修会、定時総会(東京エレクトロンホール宮城)
〃 総務・給付委員会、経営委員会
6/5 設置者・園長研修会(東京エレクトロンホール宮城)
6/12 研究委員会、地区研修担当者連絡会、教育研究発表大会分科会発表園打合せ会
6/13 総務・給付委員会
6/20 常任理事会
6/24 経営委員会
7/10 総務・給付委員会、研究委員会
7/17 教育振興大会・PTA研修大会(東京エレクトロンホール宮城)、経営委員会
7/23 理事会
7/24 未満児保育研修会(東京エレクトロンホール宮城)
7/26 特別支援研修会(東京エレクトロンホール宮城)
7/29・30 新任教員研修会(東京エレクトロンホール宮城)
8/1 養成校との懇談会(仙台ガーデンパレス)
8/2 園長・リーダー研修会[仙私幼と共催](東京エレクトロンホール宮城)
〃 総務・給付委員会
8/5 ミドルリーダー研修会・ミドル研修会(東京エレクトロンホール宮城)
8/6 主任者研修会(東京エレクトロンホール宮城)
8/9 仙台地区設置者・園長会議(旭ヶ丘市民センター)
8/19 名取・岩沼地区設置者・園長会議(岩沼市:岩沼南こぼと幼稚園)
8/21 石巻地区設置者・園長会議(石巻市:ひばり幼稚園)
8/22 気仙沼・登米地区設置者・園長会議(登米市:ホテル望遠閣)
8/23 塩釜地区設置者・園長会議(塩釜市:塩釜登番館)
8/26 仙南地区設置者・園長会議(柴田町:第二たんぼ幼稚園)
8/27 大崎地区設置者・園長会議(大崎市:グラウンド平成)
8/28 総務・給付委員会
8/29 研究委員会
9/2 理事会、広報委員会
9/11 常任理事会と総務・給付委員会合同会議
9/13 設置者・園長研修会(東京エレクトロンホール宮城)
9/18 研究委員会
9/24 広報委員会

○慶弔

- 5/31 熊谷 政志 氏(葦の芽幼稚園・葦の芽星谷幼稚園 理事長) ご逝去
9/11 菅 千代 氏(もと 仙台めぐみ幼稚園 園長) ご逝去

平成31年度

設置者・園長研修会 / 第1回定時総会

日時：令和元年5月23日(木) 会場：東京エレクトロンホール宮城

設置者・園長研修会

新労働基準法等への対応について

講師：特定社会保険労務士 高橋 道枝 氏

<要旨>

- (1)法改正の動向：①平成31年4月より「年次有給休暇の年5日消化義務」が施行され、罰則もあるので休暇管理簿で消化日数を把握し、労使協定等で時期を指定するなどして、遵守すること。②時間外労働について：月45時間以上禁止、日常的労働の延長は認められないので、1年変形労働制を導入する。③パートタイム・有期雇用労働法：同一労働・同一賃金、通常労働者との格差是正。④5年ルール：有期雇用労働者の契約期間が5年を超え、本人が希望したときは、無期雇用契約に転換できる。⑤育児休業・育児短時間勤務等への対応：子どもが3歳まで、育児短時間勤務(1日6時間勤務)の利用可(働ける業務の内容を考える)。⑥「兼業・副業」は原則禁止だが、職業選択の自由に基づき、兼業・副業を認める(背景に貧困化がある)。⑦メンタルヘルスや能力不足への対応：新型うつ(仕事の時だけ元気がなくなり、私生活は支障ない)。
- (2)実務上の対応：①休日・休暇・欠勤の区別をつける。②年休の時期指定権は労働者にある(理由は問わないので遊びに使ってもよい)。③事前申請の徹底。④年休の時間単位付与：年5日を限度として時間単位に分割(労使協定の作成が必要)書面協定をなくして時間単位年休を与えた場合は、「年休消化」として取り扱うことができない。
- (3)5年ルールによる無期転換の義務化：有期労働契約が繰り返し更新されて通算5年を超えたときは、労働者の申し込みにより、期間の定めのない労働契約(無期労働契約)に転換できる。無期転換は、「正社員に転換」することではなく、労働契約期間のみを無期に変更することで足りる。



- す。私たちも一丸となってより良い環境を作りましょう。
- 2.「幼稚園賛歌」斉唱
- 3.村山十五理事長挨拶：今年度は、県内の幼稚園園児が減少傾向にあります。幼稚園振興法の成立、新制度への移行等、課題が山積しています。幼児教育の無償化については、6～7月に県から説明があります。
- 4.来賓祝辞：①県私学・公益法人課新妻直樹課長：震災から8年、復興の総仕上げにご理解とご協力を願います。また、新制度移行4年目で、各市や町と連携しながら定着させていきます。子育て安心プランに基づく2歳児受け入れ等、目まぐるしい動きです。運営費補助金1.3%増、人材確保支援を今年度も行います。②宮私幼PTA連合会深谷晃祐副会長：「忙しい」という言葉を使わず「充実している」と肯定語を代用しています。幼小接続教育も進んでおり、健康第一に、素晴らしい園作りに取り組んでください。
- 5.議長選出：幼保連携型認定こども園 塩釜聖光幼稚園 鈴木浩子先生、東盛幼稚園清野信先生
- 6.議事録署名人の選任：ろりぽっぷ幼稚園加茂光孝先生、矢本はなぶさ幼稚園山田元郎先生
- 7.議事：第1号議案平成30年度事業報告、第2号議案平成30年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告について審議され、異議なく可決されました。
- 8.報告事項：①各委員会より②「東日本大震災義援金」を一般会計に組み入れます。
- 9.その他：①(村山理事長)幼児教育無償化の対象範囲について、新制度に移行していない幼稚園は、現行の就園奨励費補助金と同じ考え方です。保育料の値上げは市町に、園則変更は県に提出してください。②PTAバレーボール大会は、11月6日(水)に変更になりました。③研究発表大会・免許状更新講習を3月24日(火)に実施します。
- 10.「花のおさなご」斉唱
- 11.閉会のことば(根來興宣副理事長)：経営面での課題は多いが、幼児教育の大切な時期、健康に気をつけて、各園の隆盛を願っております。(小川せつ子)

第1回定時総会 <要旨>

- 1.開会のことば(鎌田文恵副理事長)：先週、あおば祭りが開かれ、近年、仙台市全体のお祭りとなっていま

令和元年度宮城県私立幼稚園・認定こども園教育振興大会 第48回宮城県私立幼稚園・認定こども園PTA研修大会

大会スローガン 「次代を担う子どものために」

日時：令和元年7月17日(水) 会場：東京エレクトロンホール宮城

● 第1部 振興大会

鎌田文恵副理事長の「10月から
は、幼児教育の無償化がスタート
しますが、保護者・先生・幼稚園が
一体となって、質の高い幼児教育
を継続できるようこの振興大会
を契機に努力して参りましょう」
との言葉で開会しました。



初めに、村山十五理事長から
「子どもを取り巻く環境が激変し
ます。無償化により女性の就労支
援、待機児童解消が進むのなら結
構であるが、それにより質の高い
幼児教育を受ける機会が失われ
ないように研修支援を続けてい
ます。これからもご支援を賜りたい」
との挨拶がありました。次に
佐々木幸士PTA連合会会長が
「幼児教育無償化は、国へこれま
で陳情を続けてきた結果であり
ます。保護者の皆様には、これを
機会に子育てを見つめ直し、家庭
の大切さを再認識してほしい。P
T Aとしては、今後も子ども達へ
の充実した支援を約束します」と挨拶されました。



来賓として、県知事代理の佐野好昭副知事が、「全国で



は、痛ましい子
どもの事件・事
故が多発してい
るので、皆様にも園児の安全管
理の再確認をお
願いするととも
に県としても幼

児教育の充実のため安心して学べる環境づくりに尽力し
たい」とのお話があり、次に宮城県議会の相沢光哉議長が
「幼児教育は一生涯の基礎。その後の人間形成に大きな影
響を与えます。子ども達が充実した環境の中で健全育成が
図れる環境づくりへの支援を引き続き行ってまいります」
とのお祝いの言葉を述べられ、来賓紹介・祝電披露があり
ました。最後に、清野英俊理事と芦名美穂PTA副会長よ
り、大会宣言が読み上げられ、根来興宣副理事長の「大人達
も子ども達に負けないよう学びの目を持ち、この後の2部
の研修大会に臨んでほしい」との言葉で閉会しました。

大会宣言

私たちは、次代を担う子どもたちが心豊かな人間とし
て成長することを願い、子どもたちにとっての最善の
利益を実現するため、家庭教育の向上、幼児教育の振
興を図ることを目的として、子どもたちがはじめて出
会う学校である私立幼稚園・認定こども園と手を携
え、常に努力することを宣言します。

一、子どもたちの教育の原点が、家庭にあることを再認
識し、家族が協力し合って絆を深め、家庭が子どもに
とって最も安心でき、共に学び合える場になるよう努
めます。

一、私立幼稚園・認定こども園への公的助成、特に保護者
の経済的負担を軽減するための補助金の増額及び教
職員の処遇改善の早期拡充を求めます。

一、東日本大震災により被災した方々の復興と地域の人々
との絆を深め、心
のケアを含めた
安心して暮らすこ
とのできる地域
社会づくりの支援
に努めます。



● 第2部 研修大会

講演 子育てのヒミツ

～子育てにはこんなパワーがある～

講師 松居 和氏

(音楽家・作家・元埼玉県教育委員長)

講演を始めてから25年、このように講演をするようになったのは、元々は尺八奏者としてアメリカに行ったことがキッカケでした。その当時も今もそうですが、アメリカでは女性の3人に一人が未婚の母なのです。子どもが産まれたら母子家庭で一人で育てている。そのような女性が本当に多くいます。母子家庭で頑張っている母親を見て子どもが立派に育つこともアメリカでは多々あり、それは親の親心が育った結果、子どもが立派に成長したのだと確信することが何度もありました。親が親らしく育つ機会が奪われるとその子どもは精神的に健全に成長することが出来ず、より良い人間性も育まれないと言っても過言ではありません。例えば、親は誰でも言葉の話せない1歳児(我が子)と言葉のないコミュニケーションを図るわけですが、言葉を交わせないから子どもを思い計り、子どもが何を望み、何がして欲しくて、何を嫌がるのか、子どものことを思い、悩み、時に喜び、時に落ち込み、泣き笑うことがあります。これこそが、子どもを持つ前までは、自分本位で考え、行動してきた大人が親となる絶好の機会とも言えるのです。子どもを育てているようでいて、実は自分が親として育てられているのです。1歳児の子どもはそんな



役割をもっているのです。

一方、アメリカの教育現場では、読み書きできない先生が2～3割いることが問題となっています。日本は、幸いにも受験戦争があり、それを乗り越えてきた方が先生として、活躍しているので、読み書きできない先生は聞いたことがありません。皆さんは、受験戦争と聞くと良いイメージはないかもしれませんが、受験戦争で親子ともに苦勞することが結果的に親子の固い絆を作り、親の忍耐力も育てているのは事実です。そして、受験戦争を乗り越えた家族は、深い信頼関係を手にしているものです。家族とはとても大切なもので、私は、子育てで、一番大切なことは何かと尋ねられたら、「家族、とりわけ母親の精神的健康を保つこと」と答えています。母親が元気であること、明るい顔でいること。母親が毎日明るく元気であれば、家庭が良い雰囲気になり、家族の心が一つになります。だから父親は多く稼いで、母親をまずは経済的に安心させることが大きな役割となるのです。また、父親には是非幼稚園で一日先生体験を経験してほしいものです。先生という仕事の大変さと素晴らしさを味わい、先生への感謝を先生本人だけではなく、我が子や家族にも伝えることで、もっと親らしく育つことができるのです。そして、保護者同士としてお互いの子の幼い時を知っている関係が他の保護者と築けたら、父親としての人生がもっとより良く変わっていくはずですよ。子どもから尊敬もされます。このように子育てには、ヒミツのパワーがたくさんあるのです。これからも大いに子育てを楽しみましょう。

涙あり、笑いあり、感動ありの貴重なご講演、ありがとうございました。(高橋 潤)



新園長紹介

もみじが丘幼稚園

園長 田中道子



今年度4月より、学校法人おおとり学園もみじが丘幼稚園園長に就任致しました。昨年度までクラスの現場で子どもたちを保育していましたので、園長としての立場になって改めて責務の重さを感じ、毎日試行錯誤しながら過ごしております。子どもたちからは「園長先生になったの？頑張ってる！」と励まされたり、園庭から「一緒に競争しよう！」と遊びに誘われたり…と、今までと変わらない姿を嬉しく思い、今後もたくさん関わり、子どもたちにとって身近な存在でいられる園長になろうと心に決めました。

もみじが丘幼稚園は、大和町の七ツ森や緑溢れる自然に囲まれ、四季折々を感じられる環境にあります。教育方針は、キリスト教と全人教育を建学の精神としています。一人一人に寄り添い、その子に合った調和的発達を支えていけるよう教育をしています。令和という新しい時代を迎え、これからますます時代は変化していきます。多様化する時代を生き抜く力を養えるよう全職員で、日々研鑽しながら保育に努めております。本園の職員は、常に子どもを第一に考え、皆が同じ方向をみて保育している素晴らしさがあります。新米園長を皆で支えてくれる良き仲間にも恵まれたことに感謝をし、今後も日本の未来を担う子どもたちが安心して心身ともに成長できる園になるよう、そして教育理念である「愛のある子ども」を育てていきたいと思っております。

今後共、皆様方のご指導ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

利府聖光幼稚園・利府聖光保育園

園長 遠藤浩



利府聖光幼稚園・保育園の園長として就任しました遠藤浩と申します。6年前、利府第三小学校に勤務した折、学区内にある幼稚園との連携事業で度々、利府聖光幼稚園を訪問しました。そこでは聖書の言葉を中心とした教育活動が展開されており、障害のある子も含め、どの子も立派に活動に取り組んでいる姿を見て驚きました。理事長の遊佐先生は私の前任校の歴代校長の一人であり、初めてお会いしたときに不思議な親近感を覚えました。お交わりをさせていただく中で、多くのことを学ばせていただきました。

聖光幼稚園で働くことについて遊佐先生から声を掛けていただいたときには正直悩みました。幼児教育の経験がなく、信仰の弱い私にはたして務まるだろうか。祈る中で、「わたしはあなたに命じたのではない。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたが行くところどこでも、あなたの神、主があなたとともにおられるのだから。」という聖書の言葉が示されました。聖光幼稚園で働くことを神様の導きと信じて決断しました。

利府聖光幼稚園は50年以上の歴史があり、多くの方々の献身的な努力により運営されてきました。また、日々教会の方々の祈りに支えられています。

イエス様は、子どもたちを祝福し「神の国はこのようものたちのものです。」と言われました。子どもたちが日々神様に愛され、守られていることを感じられるよう励んでいきたいと思っています。

地区別設置者・園長会議

平成31年度 地区別設置者・園長会議について

経営委員長 末屋 保広

夏休み恒例の地区別設置者・園長会議が行われましたが、今回は幼児教育無償化についての説明があったためか、例年を上回る9割以上の園にご出席いただきました。無償化については、保育料の月25,700円の金額は理解して

も、給食費のうち副食費への補助や入園料の一部返金の問題等、細部については未だ分からない部分が多く、園長先生方におかれても悩みの種となっているようでした。

夏休み明けの9月には、理事会や評議員会を経て園則の変更届けを提出した園も数多くあったことと存じます。10月1日の無償化スタート後には様々なトラブルや疑問が出ることも予想されるので、経営委員会としましても皆

さまから情報やご意見を取りまとめながら、今後の設置者・園長研修会のあり方などの方策を探ってまいり所存です。また、地区会議でのもう一つの大きな話題は「人材確保について」でありました。今回の無償化により園の財政は少なからず好転することが予想されるので、初任給をはじめ人件費をアップする園も増えるでしょう。それにより養成校の学生にとっても幼稚園の志望が例年よりも増えることが期待されます。しかし、金銭的な待遇を良くしただけで学生が自園を選んでくれるとは限りません。

教職員にとって働きやすい・やりがいの持てる職場づく

りを、設置者・園長が先頭に立って改革することで良質な人材を確保し続けられる園となるのではないかと考えております。その中でも個人的に思うのは、教育実習の受け入れが重要だということです。実習生に良い印象を植えつけ、友人間のクチコミで広がっていければ、職員採用にプラスになるのではないのでしょうか。今さら言うまでもありませんが、求人票を提出して学生を待つだけでは、人材確保にはつながりません。この機会に各園でのさらなるご検討に期待します。

養成校との懇談会

日時：令和元年8月1日(木)14:00～16:00

会場：仙台ガーデンパレス4階「蓬莱の間」

猛暑の中、県内及び近県の養成校合わせて11校に参加していただき、今年度の「養成校との懇談会」を開催しました。はじめに村山十五理事長より「養成校と色々な課題を共有できるひと時となるよう期待しています」と挨拶があり、次に養成校を代表して尚絅学院大学子ども学科長の佐藤淳一先生より「学生の実習の受け入れや就職などで大変お世話になり感謝しています」と御礼の言葉をいただきました。次に参加者全員が自己紹介を行い、その後議題に入りました。

第一議題に「宮私幼の現況について」を宮私幼の吉岡弘宗 総務・給付委員長が『『ようちえん』白書⑦』に従って現状を説明しました。新任から3年で退職する数が118名で非常に多いこと、初任給が低い幼稚園もあるが、多くの幼稚園では手当やボーナスも改善していると説明がありました。また、近年学生の方々が就職先を選ぶ際に「派遣会社などを活用しているのか。養成校ではそれを勧めているのかを伺いたい」と尋ねられました。その後、第二議題「養成校の現況について(就職先等)」を参加していただいた養成校の諸先生から自己紹介を兼ねて就職等に関して具体的な説明がありました。多くの養成校の学生たちが選ぶ就職先は30～40%が幼稚園、60～70%が保育所で、最大の要因は保育所からの求人が多いこと、保育所は勤務時間が固定しているが、幼稚園は保育準備(日案、月案、指導案など)のために持ち帰りの仕事があると認識していることや、新卒で担任になる不安やピアノが苦手など色々な要因があると説明がなされました。ただ、養成校では実習させていただいた幼稚園から就職の内定をいただくケースもあるとのことでした。首都圏に就職する学生もいるが、地元志向の

学生が多いのが現状で、また、学生たちが「派遣会社」を通して就職先を選ぶことは慎重に行うよう勧め



ているとのことでした。その後、Aグループ、Bグループに分かれて、第三議題「養成校から宮私幼への要望・質問について」では、某実習幼稚園で、日案、週案を書く時に一言一句細かく書くよう勧められ戸惑いを覚える事や、「当幼稚園は今までこのように行ってきました」と強く言われてしまうと、それに対応できず悩んでしまう学生が多い。男性教諭の求人も増えているが、女性教諭が多い職場で男性一人は大変である。三年未満で辞めてしまう教諭が多い理由の一つは、自分一人で抱え込んでしまう傾向が強い等の具体的事例をお話いただきました。幼児期から打たれ強い人格形成が、今最も求められているのではないかとの意見も出ました。なお、幼稚園側でも、日案、週案、指導案なども手書きではなくパソコンを使うことや、時間削減のために可能な限り口頭で伝えるなどの鋭意工夫をなすべきではないかとの前向きな意見も出ました。第四議題「宮私幼から養成校への要望について」は今後とも養成校との連携を密にし、実習した学生たちが幼稚園教諭として誇りを持って幼児教育に励んで欲しいという意見が出ました。閉会の挨拶として鎌田文恵副理事長より、養成校との連携を深め、優秀な人材確保に努め、幼児教育の素晴らしさを共有していきたいとお話があり、養成校との懇談会が終了となりました。(友川 栄)

幼稚園訪問記

幼な子とともに

南光紫陽幼稚園・あじさい保育園 を訪問しました!!

7月2日(火)に仙台市泉区にある南光紫陽幼稚園・あじさい保育園を訪問取材させていただきました。当日は、村山十五理事長先生、遠藤浩一園長先生のお迎えを受けました。昭和52年に富ヶ丘に南光紫陽幼稚園として開園し、平成18年に当地に移転し現在に至っているとのこと。仙台を一望できる高台にあり、園舎の裏には豊かな森があり、自然と共存している最高の環境に恵まれた幼稚園と羨ましく感じました。特に力を入れている保育は何ですかと



尋ねると、園長先生は「全園児がいろいろな友だちと関わりながら、体を十分に動かして遊ぶこと」と力強く答えてくださいました。丁度取材している時、全園児がケロポンズのエビカニクスを元気一杯踊っている姿に、園長先生の願いがしっかりと反映されていると感じました。

その後、年少さんは色水遊び、年中さんはプール遊び、年長さんは製作活動を楽しんで行っていました。それぞれのクラスの前の廊下が広く、園児たちが自由に体を動かすスペースが確保されているのは素晴らしいと感じました。7



月5日(金)には有志父親サポーター参加の「スペシャル仲良しデー」があり、全園児の1/3のお父さんが参加予定とのこと。素晴らしい「スペシャル仲良



学校法人おおとり学園

認定こども園 南光紫陽幼稚園・あじさい保育園

〒981-3101 仙台市泉区明石南 6 丁目 13-2
園児数168名 教職員21名
(満3歳児10名、3歳児48名、4歳児58名、5歳児52名)

「リーダー」になるようお祈りしています。年長さんは一泊保育を7月20～21日に泉ヶ岳自然ふれあい館を会場に予定。充実した一泊保育となるよう願っています。



1. 教育理念

本学園は、キリスト教の教えに基づく人格教育、及び調和的発達を目指した全人教育を理念とし、平和の礎となる「愛のある子ども」を育てる。

2. 教育目標 特に力を入れていること

『健康な子ども』

基本的な生活習慣を身につけ、健全な心身を持ち、自ら見通しをもって考え、自信を持って行動しようとする子ども。

『主体性のある子ども』

様々な事象に興味・関心を抱き、豊かな感性・創造性・思考力をもって自ら積極的に関わろうとする子ども。

『協調性のある子ども』

様々な人と関わる中で人の愛情や信頼を感じ、人の思いやりや考えに気づき、より良い関係を築こうとする子ども。



3. 保育時間

9時～14時

4. 預かり保育

14時～18時30分

5. 給食

月曜日 園児全員

火曜日～金曜日 注文給食



6. バス送迎

バス5台 全園児の約80%が利用

7. 未就園児教室

週1回 木曜日が金曜日

(友川 栄・鎌田俊昭)